



電動化対応トラック・バス導入加速事業

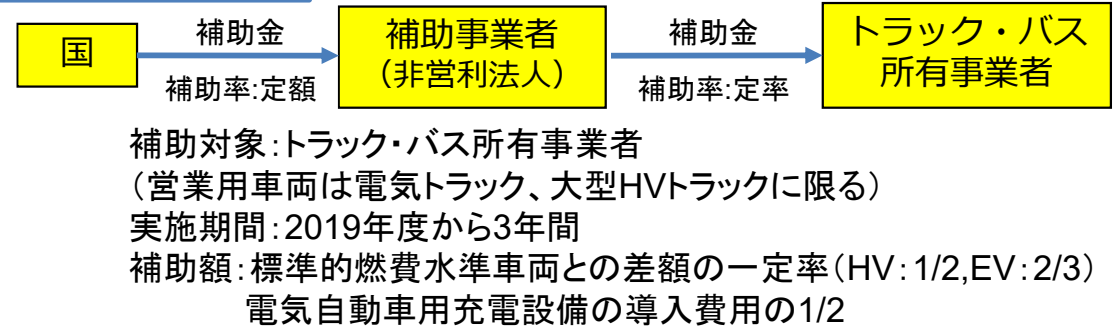
2019年度要求額
1,000百万円（新規）

事業目的・概要等

背景・目的

- 温暖化対策目標の達成に向けて、運輸部門のCO2排出量の3割を占めるトラック・バスからのCO2削減が重要。
- 一方で、電動化対応トラック・バスは、ディーゼルトラックに比べ車両価格が高いこと、トラック・バス向けの充電設備が十分でないことが、普及に向けて大きな課題。
- 電動化対応トラック・バスの普及に不可欠な充電インフラの整備にも補助することで、普及初期の導入加速を支援。

事業スキーム



事業概要

- 電動化対応トラック・バスの導入を支援。
- 事業所及び営業拠点への充電インフラの整備を支援 (EV、PHV)。

期待される効果

- 電動化対応トラック・バス (EV、HV) の導入加速 (2025年度の新車販売中の比率約8.6%)
- 運輸部門における効率的な電動化対応車両の導入方法が確立。

事業イメージ

補助対象トラック・バス

| | 対象とする車両の環境性能※ | 2019年度時点で想定されるもの | |
|----|-----------------|------------------|--------|
| | | トラック | バス |
| 大型 | 最新の燃費基準+10%程度以上 | HV | EV、HV |
| 中型 | 同10%程度以上 | HV | PHV、EV |
| 小型 | 同15%程度以上 | EV、HV | EV |

※HVにのみ係る要件

充電設備

《種類》

- ・急速充電設備
- ・普通充電設備

《設置場所》

- ・事業者の敷地等

